

中学校給食の早期実施を求める決議

葉山町の給食は、昭和 32 年 4 月、葉山小学校から始まり、現在は小学校 4 校で自校方式(校内の調理場)による完全給食が実施され、中学校 2 校はミルク給食となっている。

平成 27 年に葉山町教育委員会は、学校給食は教育的意義が大きく、子どもたちの健康の保持増進、体位の向上から、食育指導を進める上で必要だとして、平成 28 年 9 月に「葉山町学校給食基本構想」(以下「構想」)を策定し、平成 31 年 9 月の供用開始を掲げた。

この構想で実施された保護者アンケートでは、6 割から 7 割が中学校給食を必要と回答した。

しかし、構想が自校方式をやめて、小中学校 6 校のセンター方式を図るものであることから、保護者や教育現場など関係者から疑問や反対の声があがった。

その後、教育委員会による給食センター用地の選定も、当初は上山口小学校の敷地内があげられたが、近隣道路の狭隘もあり断念し、実施時期を平成 32 年度とした。

次に葉山中学校の駐車場と斜面地を活用した計画案も、大規模な整備費がかかることから頓挫した。そして現在は、四度目の用地選定をしているが未だに定まっていない。

以上のことから、生徒と保護者が願ってきた中学校給食は、平成 31 年度でなく、さらに 32 年度の実施も困難となっている。

中学校給食を実施した市町村では、就学援助対象となることから、保護者の経済的な負担軽減が、学校現場の生徒に与える教育的

効果につながっていることも報告されている。

また、中学校給食は、全国的には8割、県内市町村でも、とくに逗子市、鎌倉市、三浦市が実施、横須賀市が施設整備を進めている現状からも、用地確保と施設整備を早急に進めながらも、同時に当面の措置として、完全給食の提供ができるように求める。

中学校給食への期待は大きく、町長が示された「美味しく安全で栄養のある完全給食」をめざし、積極的な対応を重ねて求めるものである。

以上、決議する。

平成31年3月12日

葉 山 町 議 会